

事業所名 グループホーム ひまわりの家

日付 平成 19年 8月 29日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 薬剤師・介護支援専門員

介護経験歴7年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)
(記述式)

職員が入居者個々の性格を良く理解し、プライドを傷つけないような言葉かけをしていることに感激しました。一見、元気そうに見える入居者も時には気配りが必要となります。どの職員も細部まで入居者に気配りしながら他の入居者の世話をしています。

グループホームの理念にもありますが、入居者との会話をよくしています。昼食の後も片付けは後に回してでも入居者との会話を重視していました。入居者からも会話や笑い声が絶えず聞こえていました。

施設の外によく出かけています。週2回の買い物はもちろんですが、隣接した施設の行事に月4から5回出かけています。ごみ捨てやジュース等を買に行くなどして、外出や散歩に誘っています。

入居者の中に元気な人が多く見受けられるのは、出来るだけ車イスに頼らない生活環境の表れだと思います。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

週2回の買い物時には、グループホーム内の職員が手薄になり、見守りが十分出来なくなる様子が伺えました。見守りの体制についてもう一度話し合う場を設けてみてはいかがでしょうか。
定期的な会議は行っているようですが、全員参加することは難しいようです。連絡ノートをつくり対応していますが、参加できない職員からの意見をもっと聞きだせるような取り計らいを行って頂きたいと思えます。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	「利用者の話を聞く」「業務よりも利用者の訴えを優先する」をグループホームの理念にしています。入居者との会話を重視する姿勢が見られました。昼食の後など、片付けを後に回して職員は入居者と話をしています。行動を起こすときも無理強いせず、必ず入居者に説明し意思を確認してから行っています。 自分の家にいるように、家事を手伝ってもらいながら、食べたいものを食べてもらうなど、あらゆる面で自由に生活してもらいたいと考えています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	入居者のペースで暮らせるように、話は最後まで聞いてあげることを心掛けています。洗濯物をたたんだり、食事の下準備をしたり、テーブルをふいたり、買い物に出かけたりするときも、入居者の意思を確認してから行っています。また言葉かけもしっかり行い、入居者の性格を理解しながら対応しています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	食事の下準備として野菜を切ったり、写経、塗り絵、縫物などをしたりする時は、入居者の希望を聞きながら出来る事、やりたい事を自由な時間にしてもらっています。職員は入居者の状態をよく見ながら誘っています。 入居者はそれぞれ、食卓以外に居間の中で座る場所が決まっているようです。各自の場所を確保してそれぞれの力や経験を尊重することが大切だと考えています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	サービス向上のため、関連施設と連携して内部研修を行っています。介護福祉士やケアマネージャーなどの資格を取ろうとするスタッフをバックアップしています。 ヒヤリハットの報告があれば、すぐ取り上げて対策を考え対応することで、事故防止に努めています。その2週間後には必ず検証し、見直しを行っています。		